

社会貢献市民交流ワーキング活動開始！

常務理事 **皆川 勝**（東京都市大学）

本 CNCP 通信の Vol.36 で予告し、Vol.38 で事前インタビュー調査結果の概要の一端をご報告しました。また、Vol.39 では「賛助会員 CSR 紹介」として熊谷組の取り組みを紹介しました。それらで述べたような準備活動を経て、いよいよ、右図にあるような構想の下、社会貢献市民交流ワーキングの創設時メンバーが右下表のように決まりました。

第 1 回会合は、平成 29 年 7 月 20 日に土木学会会議室にて開催されました。準備活動としてのインタビューを実施した皆川・有岡・駒田から、準備活動の経過とインタビュー結果の概要を報告したのち、各委員から賛助会員各社における「社会貢献」に関する基本的考え方を中心にインタビュー結果を参照しつつ報告されました。それに対して、CSR や CSV などについて常に考え、それに関する実践活動をされている各委員からは積極的な発言が相次ぎました。ここでは議論の一端をご紹介します。

建設業はそもそも社会に貢献するために始まっており、本業を含めてすべての事業が社会に貢献する事業であるという考えは共通しています。真の顧客としての市民がいるとは言え、請負事業は発注者の社会貢献を手伝うという面があり社会貢献を打ち出しにくいという意識があるものの、請負であっても具体的に何をするのかを提案する立場になることも多く、請負であるから社会貢献ではないという考えは当てはまらないという自負もあるようです。一方、建設界の創造力・課題解決力が明瞭に伝わるのは PPP・PFI などの脱請負事業であるという意見や、建設業に関わらない社会的活動も社会的な企業としての役割の一つという意見もありました。

このように、すべての活動が何らかの意味では社会に貢献しているということは言えるようです。ただ、それを真正面から市民に主張して受け入れられるかどうかは別の問題というところが難しい点だと思いました。この会合を通じて、建設（シビル）系企業活動の社会的価値の再整理・共有・広報により国民の理解を高める、それによって次世代の建設界を担う若い人たちに土木の魅力が適切に伝わる、これらのことがこの WG 活動の使命ではないかと再認識しました。今後、多くの会員やサポーター諸氏に参加していただき、土木界の未来をより明るくしてゆく活動に繋がりたいと考えています。

土木学会 教育企画人材育成委員会 シビルNPO推進小委員会 社会貢献市民交流WG名簿			
役職	氏名	所属	所属・役職等
主査	皆川 勝	シビルNPO連携プラットフォーム (東京都市大学)	常務理事 (都市工学科教授, 工学研究科長)
委員	飯島 玲子	パシフィックコンサルタンツ	戦略企画統括部 D&I推進室長
委員	岩坂 照之	前田建設工業	CSR・環境部長
委員	金子 通	鹿島建設	広報室 担当部長
委員	東海林 直人	鉄建建設	土木本部 土木企画部長
委員	田淵 政一	エイト日本技術開発	総合企画本部 総合企画部 担当部長
委員	藤野 真	東亜建設工業	執行役員常務, CSR推進部長
委員	松尾 和昌	飛鳥建設	企画本部広報室・室長
委員	松田 和繁	熊谷組	コーポレートコミュニケーション室CSGグループ 部長
幹事	有岡 正樹	シビルNPO連携プラットフォーム (NPO法人社会基盤ライフサイクル マネジメント研究会)	常務理事 (理事長)
幹事	駒田 智久	土木学会シビルNPO推進小委員会 (オフィス パスタタイム)	委員 (代表)